

製品名: フィブリン 3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10979**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,ELISA |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000 |
| 分子量 | 55kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | EFEMP1 |
| 別名 | EFEMP1; FBLN3; FBNL; EGF-containing fibulin-like extracellular matrix protein 1; Extracellular protein S1-5; Fibrillin-like protein; Fibulin-3; FIBL-3 |
| 遺伝子 ID | 2202.0 |
| SwissProt ID | Q12805 |
| 免疫原 | 抗血清はヒト EFEMP1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 111-160 |

背景

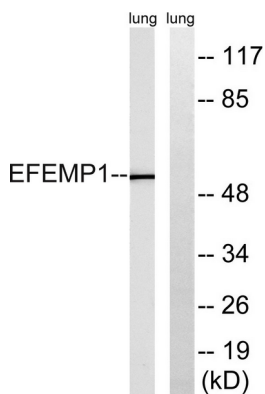
この遺伝子は、細胞外マトリックス糖タンパク質のフィブリンファミリーのメンバーをコードします。このファミリーの他のメン

バーと同様に、コードされるタンパク質は、上皮成長因子様反復配列の縦列反復とそれに続く C 末端フィブリン型ドメインを含みます。この遺伝子は悪性神経膠腫で発現が上昇しており、これらの腫瘍の悪性度に関与している可能性があります。この遺伝子の変異は、ドイン蜂巣網膜ジストロフィーと関連しています。同じタンパク質をコードする選択的スプライシング転写バリエーションが報告されています。[RefSeq 提供、2009 年 11 月],代替製品: 一部のアイソフォームでは実験的確認が不足している可能性があります,疾患: EFEMP1 の欠陥は、ドイン蜂巣網膜ジストロフィー (DHRD) [MIM:126600]の原因です。これは、マラチア・レベンチナーゼ (MLVT または ML) としても知られています。DHRD は常染色体優性遺伝疾患であり、網膜色素上皮の下に蓄積するドルーゼンと呼ばれる黄白色の沈着物が特徴です。 ,オンライン情報:Retina International の Scientific Newsletter,類似性:フィブリンファミリーに属します。 ,類似性:6 つの EGF 様ドメインを含みます。 ,

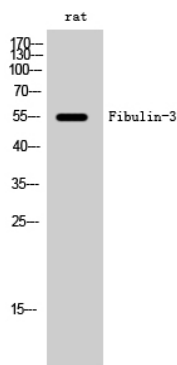
研究分野

シグナル; シグナル伝達経路; カルシウムシグナル伝達; カルシウム結合タンパク質; 神経科学; 感覚系; 視覚系

画像データ



EFEMP1 抗体を用いたラット肺ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



フィブリン 3 ポリクローナル抗体を用いたラット細胞のウェスタンブロット分析